

6月の農業情報

タイトル 収穫時の腰への負担軽減目指し、アシストスーツの適応性を確認

とき 令和5年4～5月

ところ 田原市内

主体・対象 JA愛知みなみ 常春部会(364名)

内容

キャベツの収穫作業は前屈みの姿勢で行われるため、腰への負担が大きい。この負担を軽減するため、農業総合試験場と㈱ジェイテクトの共同研究で開発されたアシストスーツ「J-PAS Agri～」をキャベツ生産者11名に2週間ずつ試用してもらい、適応性を確認した。腰の負担軽減効果は概ね好評なものの、膝の固定部分がずれやすい、機械の反応スピードが遅いなどの意見が出された。これらの意見を基に改良を施し、改良品は生産者からも高い評価が得られている。今後は、効果的な利用方法を整理するとともに、他のアシストスーツも含めた試着会を開催し、アシストスーツを利用した軽作業化を推進していく。



アシストスーツを試用する様子